

# おい図書館

発行 おい図書館  
 代表 青木和子  
 松本市東原1-104-406  
 TEL 047-311-0886

## 新市長との懇談

報告 青木和子

2010年6月の松戸市長選挙で初当選された本郷谷健次市長との懇談を、秘書課を通じて申し込め、11月15日(月)11時から30分間、時間を割いて頂けることになりました。当日は、「おい図書館」のメンバー5名で、市役所5階の市長室を訪ねました。

私たちの18年間の活動については、本郷谷さんの4年間の市議会議員時代に機会をとらえて概ねお話ししてあるので、会の紹介は省き、お互いに図書館への夢を語り合う

場にしたかったと思いました。

図書館に関心を持ってもらえる市長に私たちは期待していること、これまでの長い年月を考えると、これまでに決果を求めたことではない、一日もはやく取りかかってほしい気持は山々だが、むしろじっくりと腰を据えて取り組んでほしい、そして今後のまちづくりの中で、何十年か経った時に評価できるようなしつかりした構想・理念を持った図書館をつくりあげてほしいことなどを要望しました。

更に、参加者それぞれの図書館に対する思いを述べました。市長からは、JR松戸駅周辺の整備に向けて10月1日にプロジ

エクトを立ち上げたこと、図書館には「人が大切」と認識しているので、司書の育成に力を注ぎたいなどの考えをお聞きすることができました。

市民とのパートナーシップを大切にしたいとの公約を示された本郷谷市長です。「今回の懇談を第一回として、今後も話し合いの場を作っていくましよう」との合意を得て、市長室を辞しました。



### 院内集会

## 図書館の振興と発展をめざす

懇話会

報告 青木和子

11月16日(火)、衆議院第二議員会館会議室において、図書館問題懇話会実行委員会の主催で、第二回院内集会在開催されました。

参加者は、図書館員連盟の細田博之氏など国会議員4名、秘書59名で、多くの方からの発言がありました。市民の参加は100名ほどでした。

はじめに(社)日本図書館協会事務局長の松岡さんのあいさつ。続いて、議員の方々から「学校図書館の活性化・公共図書館の拡充・自治体に図書館関係の補助を計画している」「国会図書館資料の電子化予算措置」「世界の中で日本の図書館事情が低いことに驚いた」

などの発言がありました。

次に、図書館友の会全国連絡会代表の福富さんより、市民の立場から提言した「私たちの図書館宣言」についての解説、7月の参議院議員選挙の際に行なった図書館政策等に関する各党への質問とその回答について、報告されました。

そして、学校図書館問題研究会・仙台にもつと図書館をつくる会・大活字文化普及協会からそれぞれ活動報告や意見が述べられました。

最後に、親子読書地域文化連絡会の小林さんから全体のまとめがあり、開会となりました。

今回は参議院本会議の会期中に重なってしまったため、昨年と比べて国会議員の参加が少なかったのは残念に思いました。そのようの中、本会議の合間に駆けつけて発言して下さった議

員や秘書の方々に感謝致します。この方々が市民の思いを受け止めて、全国の図書館の振興と発展のために力を尽くして下さいることを願っています。



### 我孫子市民図書館

### 見学記

12月9日(木)、我孫子市生涯学習センター「アピタス」内の我孫子市民図書館を訪ねました。参加者は5名でした。

我孫子市では12月定例市議会の会期中で、当日の午前中は井上玲子館長も市議会に詰めているが午後ならば案内して下さるとのことでしたので、午後2時に伺い、「アビスタ」全体を見学させて頂きました。

先ずは、自由に入れる芝生とそこから眺める手賀沼や周囲の緑がなんとも気持ち良い屋上庭園へ。そして、一階の正面玄関を入ると、毎日でも通いたいと思わせる図書館が：何度訪れても、ワクワクさせてくれる素敵なおところです。

このように人々を引き付ける魅力の源は、建物の素晴らしさも勿論ですが、司書として図書館一筋に実践を積み重ねて来られた井上館長をはじめとする職員の方々の努力の賜物ではないでしょうか。



安増幸子

公民館との複合施設としての生涯学習センター「アビスタ」内に市民図書館があります。

ABIKO+STUDYからのネーミングも洒落ていますが、建物も、近くの手賀沼公園を借景として住民の憩いの場になっ  
ています。何より、ゆったりとしたスペースは、狭い住宅で生活している者にとっては癒されます。

- 一階がメインフォーメーション
- 情報カウンター
- 喫茶コーナー
- 窓室
- 一般書
- 参考図書
- 雑誌
- 新聞
- ティーンズコーナー
- パソコン室
- 読書室
- 図書館活動のための場
- 二階が印刷室
- テラス
- 託児室
- 第一学習室
- 第二学習室
- 第三学習室
- 第四学習室
- 第五学習室
- 会議や講演・サークル活動に利用する公民館活動の場

になっていきます。JR我孫子駅から徒歩10分ですが、子供達・小さい子どもと一緒に本を読む親達・定年後の高齢者など、あらゆる年代層の方々が来て、楽しそうに本を読んでいます。

最近、巷では、IT社会・ユビキタス社会の実現が著しく喧伝されて、パソコンの端末から、何時でも、誰でも、何処でも、望む情報が手軽に入手でき、それを有効に活用する社会が目の前に来ているというのです。メカに強く、ゲームが好き、人、情報を得るために読書する人にとって、は都合がよいが、知的好奇心が強く、想像力や考える力を大事にしている人は、今までのように紙の匂いのある本を手にとりながら行間を読みたいのではないのでしょうか。

我孫子市民図書館の井上館長を中心とするスタッフの図書館への

強い情熱を感じました。市民が読書を楽しみ、「知ることの喜び」を求める人になってほしいと願い、そのために諸々の手引きや案内を作って、どんな事でも相談してほしいと、お手伝いを厭うことなく積極的に勧めておられました。

松戸市民がここに来て本を借りたりできるのかと尋ねましたら、隣町ではないので出来ないとのこと。我孫子市民を羨ましく思いながら帰って来ました。



伊藤和子

念願の我孫子市民図書館を、館長さんの案内で見学できるという幸運に恵まれました。浦安の図書館とはまた違った意味で、すばらしい！と感動しました。

駅からそう遠くない、手賀沼を一望できる一等地に、生涯学習センターとして公民館と図書館を一

つの建物にまとめた、市民のために提供した我孫子市の意識の高さに脱帽です。

図書館に最適の土地が国から払い下げられるという絶好の機会に恵まれながら、お金が無いという理由で引き下がった我が松戸と、何たる遠いでしょう？

我孫子は、大正時代から、別荘地として愛され、多くの文化人が住んだ由。志賀直哉、柳宗悦、夫妻、バーナード・リーチ等、戦後も坂西志保さんが住み、東京裁判等の重要なお仕事のために東京へ通いながらも、確か、我孫子小学校のPTA会長を引き受け、市民運動を進められたと聞きました。遠い日の記憶の中から、懐い出しました。

鶏が先か、卵が先か、とに角、一流の文化人達を引き付ける意識の高さが、我孫子にはあったのでしょーう！

だから、あんな素敵な図書館ができたのかも……？

第一に設計がシャレている。建物全体にガラスを多用し、明るく、見晴らしが良い。目の前の手賀沼の廻りは公園や散歩道になっていて、市民の憩いの場。寝転んだり、ジョギングしたり、車椅子を押ししたり、思い思いに楽しんでる様子でした。

春になったら、私も出かけて、手賀沼の廻りを歩き、白樺文学館をのぞき、時間があれば、鳥の博物館へも足を延ばしたいなあ！松戸にも、こんなくつろぎの場があれば住み易いのに、と思ったことでした。

